

## 9 中学校用「山桜」 指導例

本資料は、桜の名所で有名な吉野山をモチーフに、吉野山の桜の品種である山桜を自分と重ね、自分の弱さを克服し逆境を乗り越えようとする主人公の姿を描いている。多くの中学生にとって主人公の姿や悩みは等身大であり、主人公のものの見方や考え方の変容を共感をもって受けとめることができるであろう。

資料では、父が主人公へ伝えたい思いを、山桜が「自分らしくあるために、自分の花を咲かせる」という比喩表現に象徴している。学習展開では、この言葉をキーワードとする話合いを設定したい。さらに、そのことが今も「わたし（主人公）をずっと支えている」ことの意味について考えさせることで、自己の弱さを克服し、人間として精一杯生きることの大切さや喜びに気付かせ、よりよく生きようとする意欲を高めたい。

### ◆ 主題名　　自分らしくあるために　　指導内容　3－(3)

資料名　　山桜　（奈良県郷土資料　県教育委員会）

### ◆ ねらい

主人公のものの見方や考え方の変化、父が主人公に伝えたかったことなどについて考えたり話し合ったりすることを通して、自己の弱さを克服し、人間として精一杯生きることの大切さや喜びに気付かせ、よりよく生きようとする意欲を高める。

### ◆ 展開

	学習活動	主な発問と予想される生徒の意識	指導上の留意点	備考
導入	1、吉野山の桜について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 吉野山の桜を知っていますか。</li><li>・毎年家族で花見に行っている。</li><li>・シロヤマザクラという品種だと知らなかった。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自由に話し合わせ、資料への興味・関心を喚起する。</li></ul>	
展開	2、資料「山桜」を読んで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 部屋に閉じこもった「わたし」はどんなことを思っていたでしょう。<ul style="list-style-type: none"><li>・やっぱり自分には才能がないんだ。</li><li>・これ以上バレーボールを続けるのは辛い。やめたい。</li></ul></li><li>○ 人知れず咲く山桜を見たとき、「わたし」の胸にこみ上げ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・部活動での体験などを出し合い、努力が報われなかつたという主人公の悔しさや自分に才能がないと思う悲しさなどに共感できるようにする。</li><li>・山深くだれも見る人がいなくとも毎年花を咲かせていく</li></ul>	

	<p>てきた熱いものとは何だったのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目立たなくとも力の限りに咲いている山桜への共感。</li> <li>・人知れず咲く山桜にこれまで頑張ってきた自分自身を重ねたことによる悲しみ。</li> </ul>	<p>る山桜に自分自身を重ねながら、主人公が感じた健気さやいじらしさ、気高さなどについて自由に話し合わせ、考えを深められるようする。</p>		
展	<p>◎ 人知れず咲く山桜を見せ、父が「わたし」に伝えたかったことは何だったのでしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だれかに認めてもらうためではなく、自分にできることを精一杯していくことの大切さ。</li> <li>・挫折を味わっているのはおまえだけではないという励まし。</li> <li>・他人と比較することより、自分らしく生きることの素晴らしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身に対して言い聞かせるように話す父の姿から、主人公への励ましの思いとともに父自身の生き方についても考えさせる。</li> <li>・ワークシートに書き込むことを通してじっくりと考えさせ、それを基に積極的に話し合えるようにする。</li> </ul>	ワークシート	
開	<p>○ あの日の山桜が、今も「わたしをずっと支えている」とは、どういうことだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・辛く苦しいときに山桜を思い出して自分を励ましている。</li> <li>・あのとき感じた父の温かさがずっと自分の支えになっている。</li> <li>・だれのためでもなく、自分らしく生きるために頑張ろうと思えるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山桜の姿や父の思いを心の支えにして生きてきた主人公について話し合うを通して、自分の弱さを克服し、人として精一杯生きることの大切さや喜びに気付かせる。</li> </ul>	ワークシート	
終 末	<p>3、「心のノート 中学校」を開き、読んだり書き込んだりする。</p>	<p>○ 「心のノート」80~83ページを開きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分らしくよりよく生きようとする心情を温めるようにする。「心のノート」を活用するほか、教員の経験や音楽を聴くなどの工夫も考えられる。</li> </ul>	「心のノート」

※「心のノート」は、次のURLよりダウンロードできます。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/doutoku/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/doutoku/index.htm)